

この「広報ひこね」は 48,000 部作成し、1 部当たりの単価は 14 円（1 円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

消費生活相談窓口つうしん

第19回

こんな相談ありました!!

危険なレーザー光線を発する
エアガンが市内に出回っています

昨年、市内で行われた催しに出店していた屋台で、くじ引きのハズレ景品として、「危険なレーザー照準器付エアガン（PSCマークなし）」が、子どもたちに手渡されていたことが分かりました。

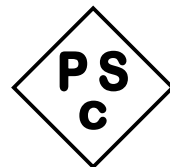
彦根市では、すでに市内のすべての保育園、幼稚園、小・中学校の児童・生徒と保護者の皆さんに、「危険なレーザー光線を発するエアガン」というチラシを配り、子どものいる家庭に

注意を促しています。

対象となるエアガンは数種類が確認されており、これらのエアガンの照準器から出るレーザー光線は、目を傷つけるおそれがあります。これらのエアガンを持っている人は、決して使用せず、処分するか、困生活環境課までお持ちください。

レーザーポインターや、おもちゃの銃などに組み込まれて販売されている、携帯用レーザー応用装置のレーザー光は、その

波長や強さによって目を傷つけたり、視力が低下する可能性があります。このため、法律（消費生活用製品安全法）によって、安全上の基準が定められています。この基準を満たしたことが確認された製品には、PSC



▲PSC マーク

マークが表示されています。レーザー装置付製品を購入したり、使用したりする場合には、PSC

マークの表示があるか、必ず確認してください。

問い合わせ先 困生活環境課 ☎

30-6116番、FAX 27-0395番、県立消費生活センター ☎23-0999番

危険なレーザー光線を発するエアガンの特徴

- ・箱や本体に、「MADE IN CHINA」との記載がありますが、輸入業者名などの記載はありません。
- ・箱の表示内容は、「CE」、「P.718F」、「AIR SPORT GUN」、「INFRARED COLLIMATOR」、「YUE GUAN」となっています。
- ・本体の表示は、「P.BERETTA」、「P.718」となっています。



▲危険なレーザー照準器付エアガン（写真は困生活環境課に持ち込まれたもの）

表紙の写真

稲枝北小学校では、地域の歴史・文化・産業などをテーマにした「稲村かるた」にゆかりある場所を訪れ、地域のことを学ぶ、「稲村かるたオリエンテーリング」が、毎年行われています。

この日は、全校生徒がグループに分かれて、学区内を歩いてまわり、かるたにゆかりのある場所、その場所について説明を聞きます。

写真は、7世紀後半ごろに、大規模な寺院があったとされる屋中寺跡について、地域の人から説明を聞く、同小学校の児童。

人口と世帯数

平成 20 年 5 月 1 日現在

人口	111,337人 (+ 40)
男	54,798人 (+ 32)
女	56,539人 (+ 8)
世帯数	42,366世帯 (+138)

() 内は前月との比較